

事業 優先順位		2	細事業:消火栓設置事業					整理 番号		02	
目的		消火栓の設置・修理を行うことで、消防水利の充実を図る。									
目標		水道給水管布設替えに合わせ、老朽化した消火栓の更新、消火栓の劣弱な地区への新設を図る。									
事業 実施主体		直営	事業開始 年 度	昭和64年度以前	根拠 法令	消防法第20条					
事業費・財源				平成24年度	比 較	コスト 情報・従事 職員数				平成24年度	比 較
	事業費 (決算額) (千円)			5,970			総コスト (千円)			7,160	
	財源内訳	一般財源		5,970			内 訳	事業費		5,970	
		国府支出金		0				人件費		1,190	
		地方債		0				公債費		0	
		その他特定財源		0				一人あたり (円)		63	
				0				世帯あたり (円)		152	
				0			参 考	職員数 (人)		0.15	
				0				再任用職員数 (人)		0.00	
	今後の方向性		消火栓を順次計画的に更新。水利の劣弱な地区へは消火栓の新設に努める。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民						
	A	A	A								

事業 優先順位		3	細事業:防火水槽設置事業					整理 番号	04	
目 的		震災時の消火栓使用不能時にも対応できるよう、耐震性のある防火水槽の設置を推進し、水利の多様化を図る。								
目 標		消防活動時における、消防水利の確保。未整備地区への新設及び耐震性のない老朽防火水槽の補強。								
事業 実施主体		直営	事業開始 年 度	昭和64年度以前	根拠 法令	消防法第20条				
事業費・財源	事業費・財源 内訳			平成24年度	比 較	コスト 情報・従事 職員数 参 考			平成24年度	比 較
		事業費 (決算額) (千円)		20,434			総コスト (千円)		22,853	
		一般財源		5,434			事業費		20,434	
		国府支出金		0			人件費		2,381	
		地方債		15,000			公債費		38	
		その他特定財源		0			一人あたり (円)		202	
				0			世帯あたり (円)		485	
				0			職員数 (人)		0.30	
				0			再任用職員数 (人)		0.00	
		今後の方向性		防火水槽の設置・修理を行うことで、消防水利の充実を図り、火災による市民の生命、身体、財産、被害の軽減を図る。当面は老朽化防火水槽の補強を行う。未整備地区で適切な用地を確保できれば、新設の設置も考慮していく。						
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民					
	A	A	A							

細事業：消火栓設置事業

消防活動上、必要不可欠である消火栓は、消防施設、人員とともに重要な消防力の一つである。消防隊が火災の際に効果的かつ確実に消火栓から吸水できるよう、水道管の布設替えや整備に合わせ、計画的に適正な配置となるよう設置した。

< 消 火 栓 設 置 状 況 >

	現 有 数	火災に使用したもの
消 火 栓	2, 0 4 4	1 0

< 整 備・修 理 状 況 >

	整 備 数	整 備 金 額
新 設・更 新	1 0	4, 1 4 0, 4 1 6 円
修 理	8	1, 8 2 9, 1 0 2 円



細事業：防火水槽設置事業

消防水利である防火水槽は消火栓とともに火災等発生した際に、被害を最小限に抑えるため設置している。また、大規模地震等の災害により、水道が断水するなど消火栓が使用不能になる場合に備え、順次防火水槽の設置を行い消防水利の多様化を図っている。

< 防 火 水 槽 設 置 状 況 >

	現 有 数	火災に使用したもの
防 火 水 槽	2 7 2	2

< 防 火 水 槽 整 備 状 況 >

	数	場 所	事 業 費
防火水槽新設工事	1 基	滝 畑	6, 1 9 5, 0 0 0 円
既設防火水槽補強工事	2 基	菊水町、栄町	1 2, 5 5 8, 0 0 0 円



新設した耐震性防火水槽（４０立米）